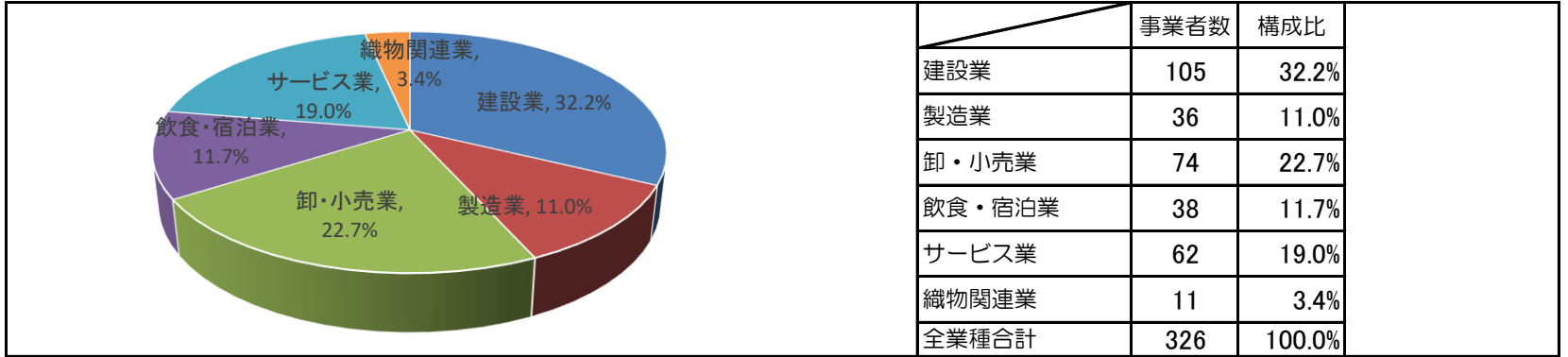


十日町市地域 企業景況調査 第2四半期報告書 (R6.7.1~R6.9.30) 会議所地区

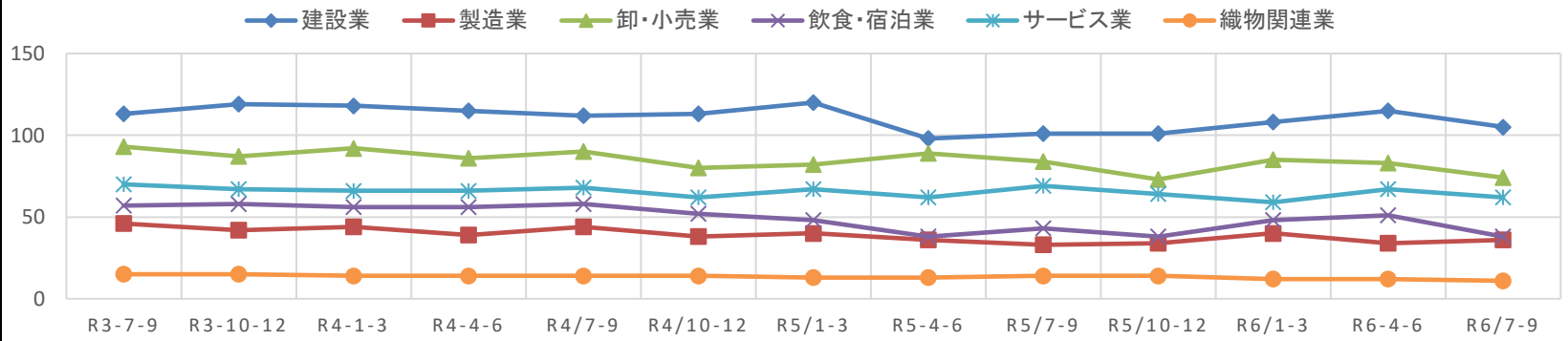
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>

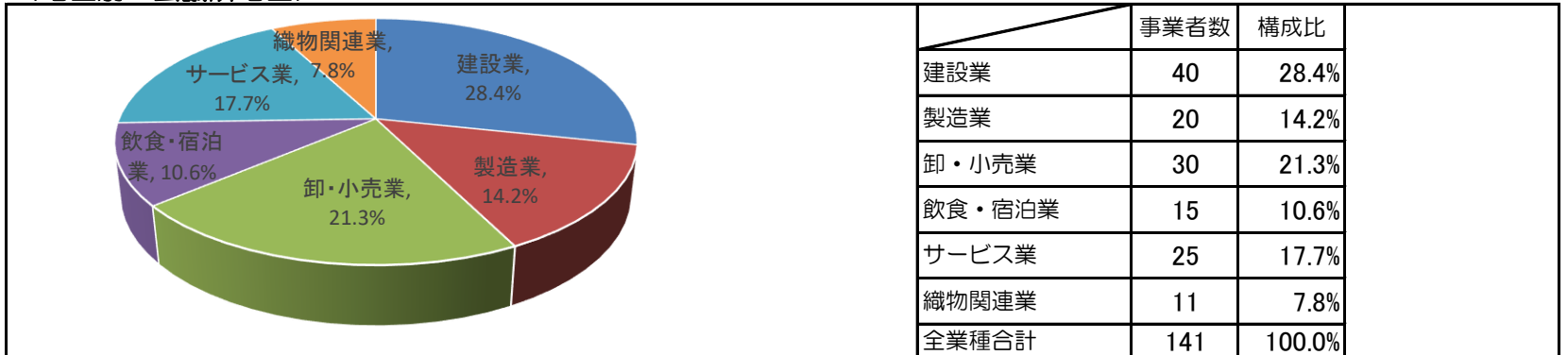


業種別調査事業所数の推移(市内全体)

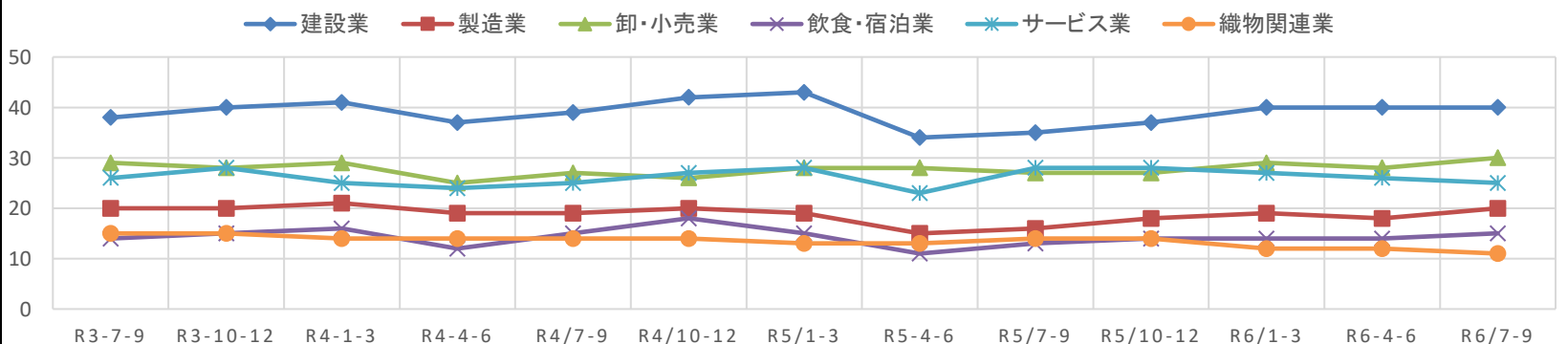


<コメント> 今回の調査は、十日町市内326事業所から回答を得られ、前回調査よりも36事業者減少している。飲食・宿泊業における減少が目立つ形となった。

<地区別：会議所地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



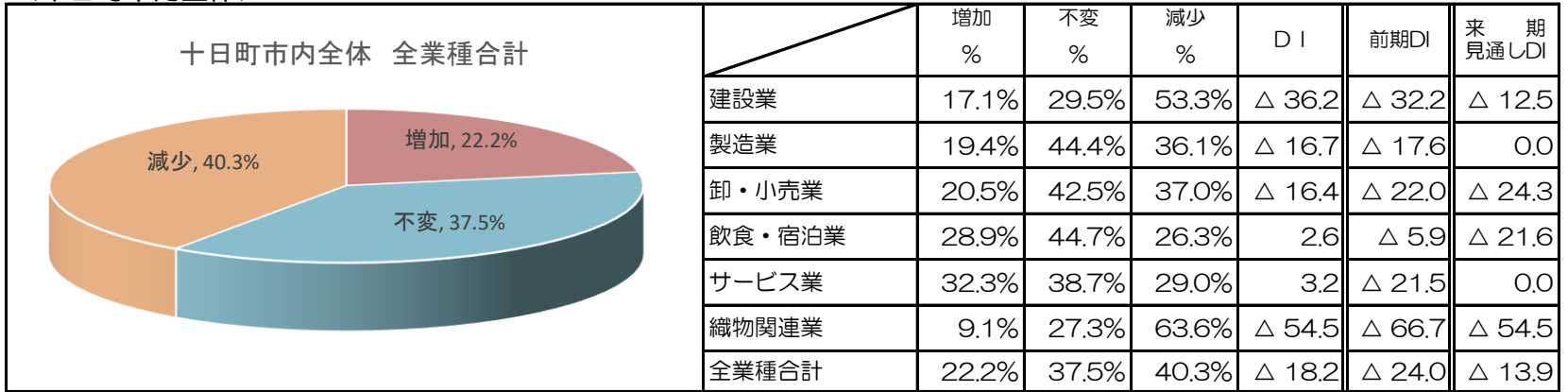
<コメント> 会議所地区の今回の調査回答状況は、依頼先187事業所のうち141事業所からの回答があり、回収率は75.4%と前回に比べ2.0%増加した(前回：回答事業所138事業所、回収率73.4%)

DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

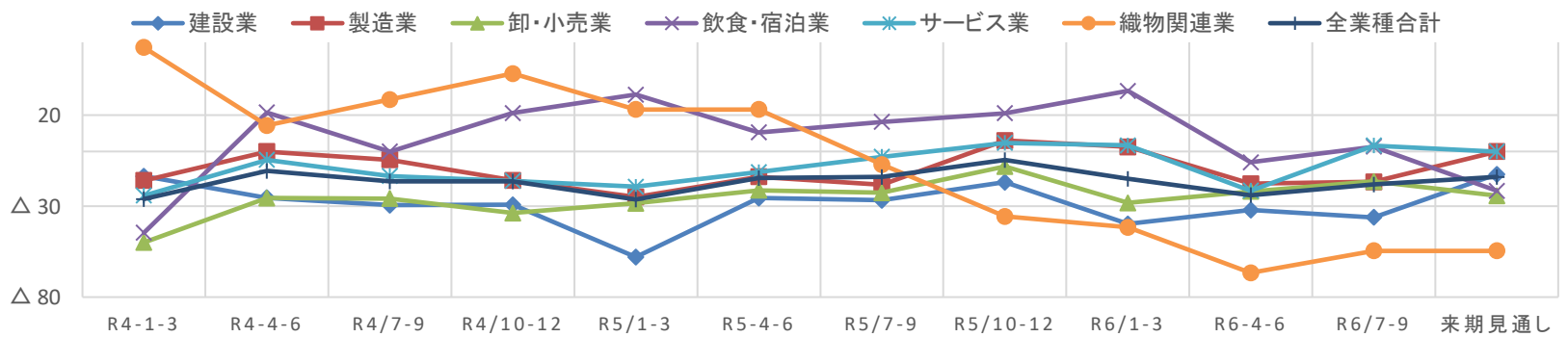
1. 売上について

- ・7月～9月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

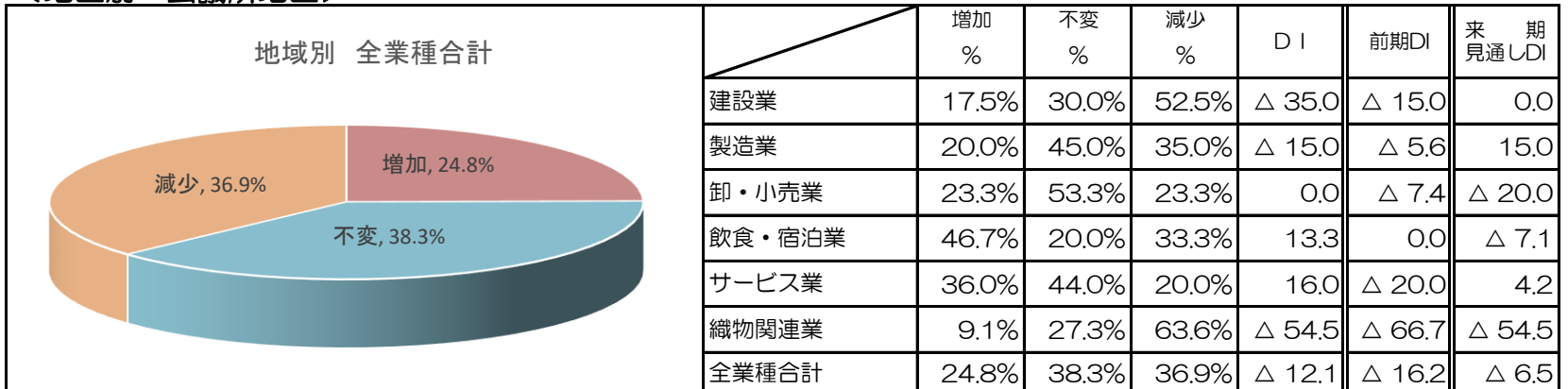


業種別売上の推移（市内全体）

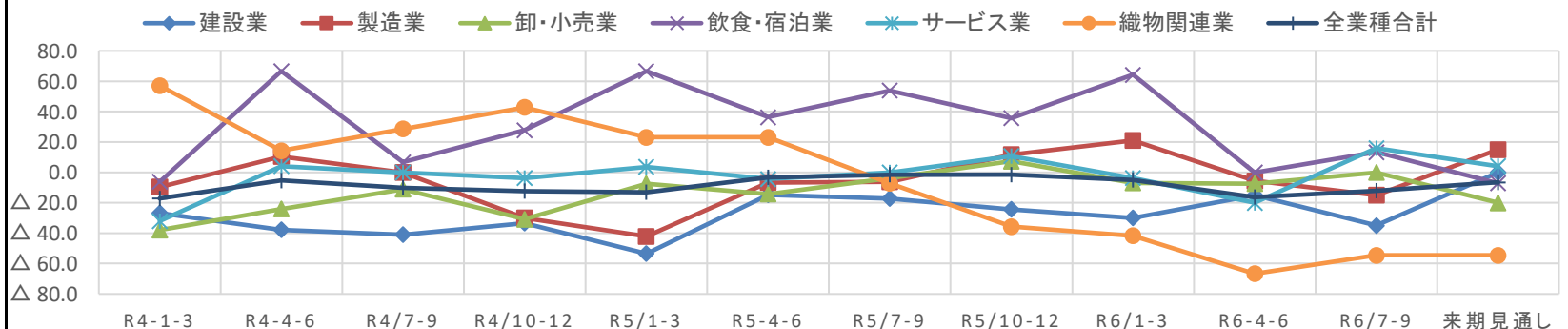


<コメント>十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△18.2ポイントで、前回調査時よりも5.8ポイント増加となっている。業種別に見ると、建設業以外の業種でDI値が上昇した。来期見通しでは、卸・小売業と飲食・宿泊業ではDI値が減少となるが、それ以外の業種ではDI値増加の見通しとなっている。

<地区別：会議所地区>



業種別売上の推移（地区別）

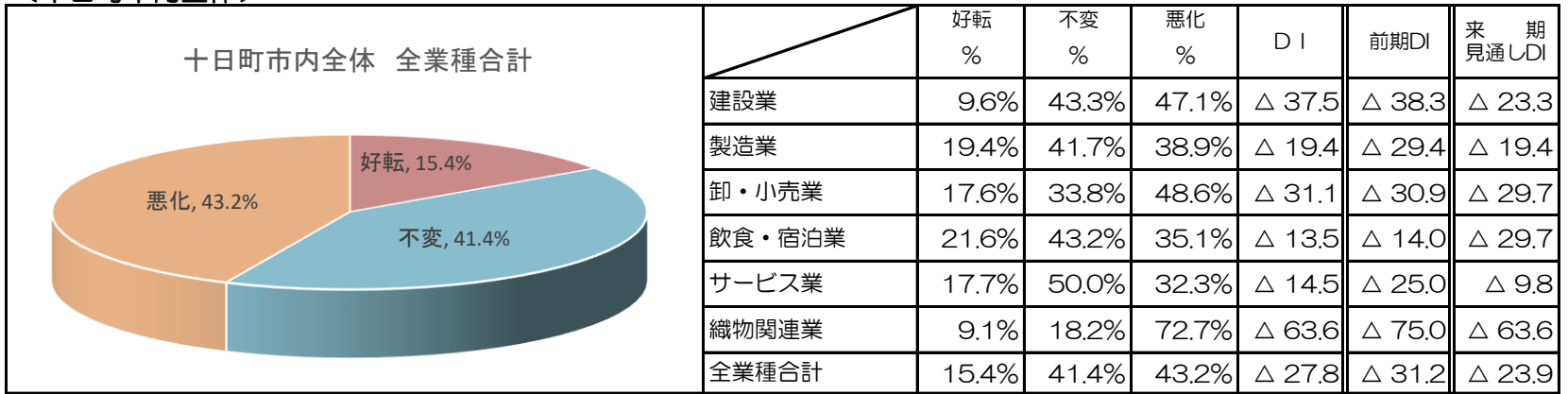


<コメント>会議所地区の今期の売上状況は、全業種DI値が△12.1ポイントで、前回調査時よりも4.1ポイント増加した。業種別に見ると、建設業と製造業が減少したが、大地の芸術祭開催期間の影響もあり、その他の業種は増加となった。来期見通しでは、織物関連業は横ばい、建設業と製造業が増加予測となり、その他の業種では減少の見通し、全業種DI値においては増加の見通しである。

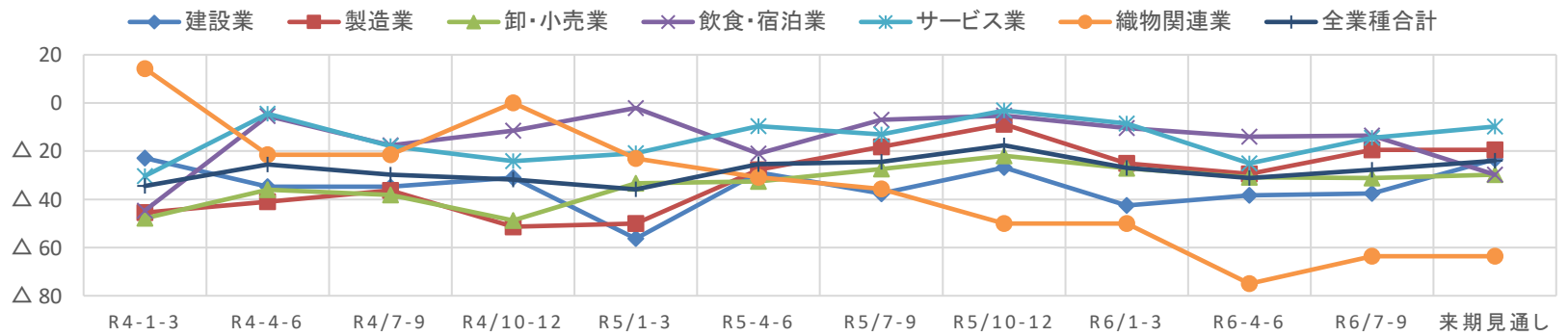
2. 採算について

・7月～9月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

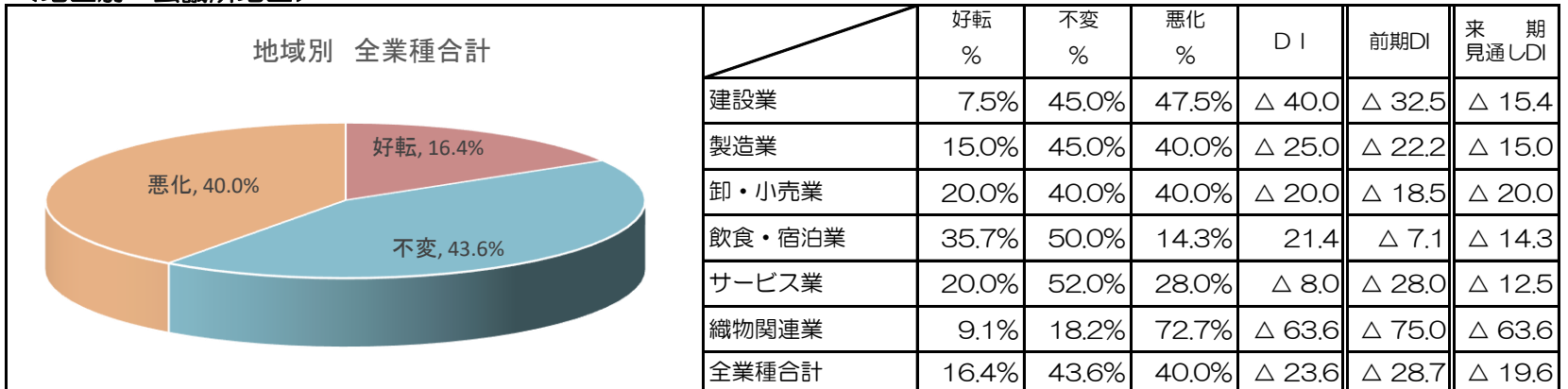


業種別採算の推移(市内全体)

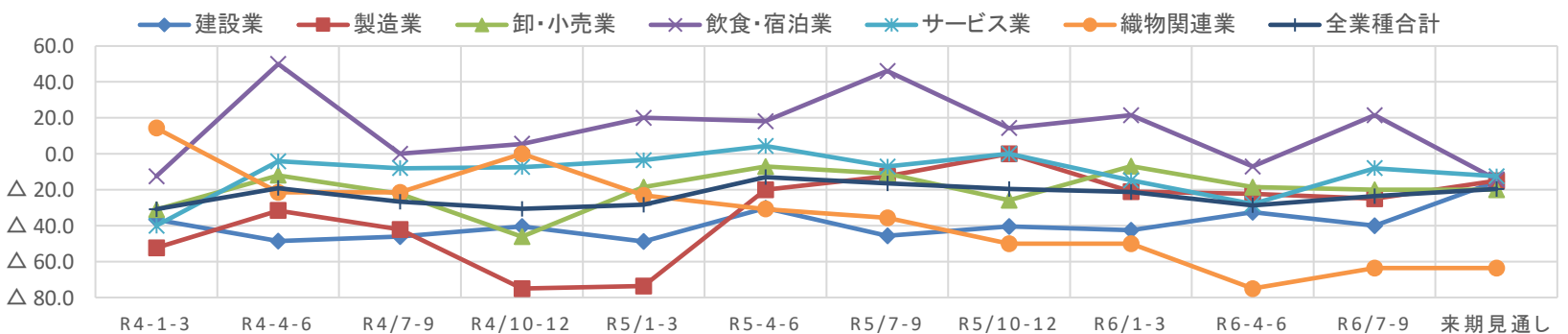


<コメント>十日町市内全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△27.8ポイントで、前回調査より3.4ポイント好転している。特に、建設業とサービス業での好転が大きかった。来期見通しでは、飲食・宿泊業で大幅な悪化予測となっているが、それ以外の業種では好転予測である。

<地区別：会議所地区>



業種別採算の推移(地区別)

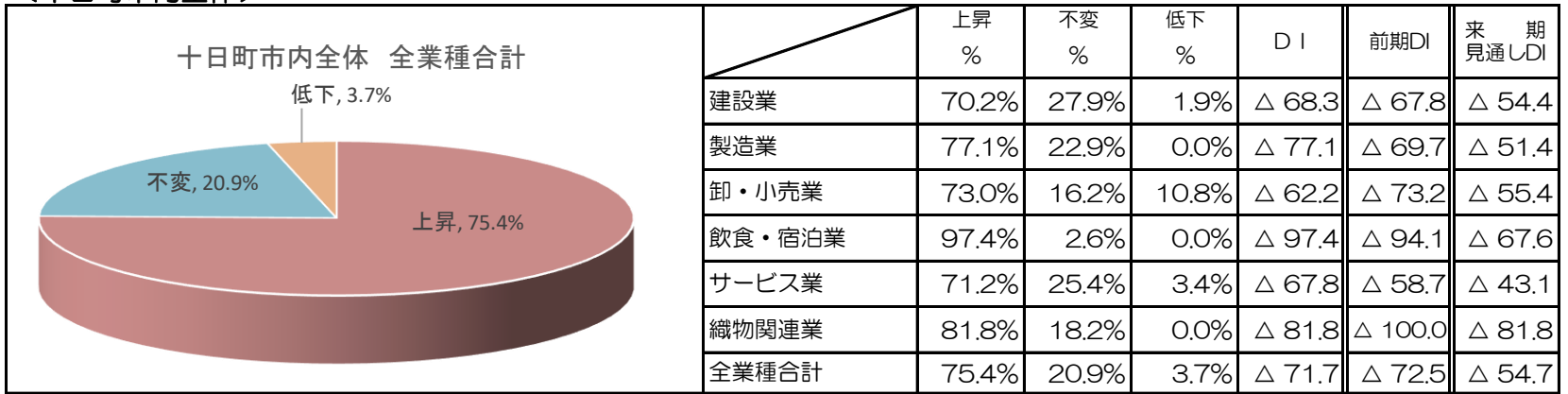


<コメント>会議所地区の今期の採算状況は、全業種DI値が△23.6ポイントで、前回調査時よりも5.1ポイント好転となった。業種別に見ると、建設業、製造業、卸・小売業が悪化した。その他の業種は好転となった。来期見通しでは、建設業と製造業が好転予測、卸・小売業と織物関連業は横ばい予測、その他は悪化予測となり、全業種DI値においては好転の見通しとなっている。

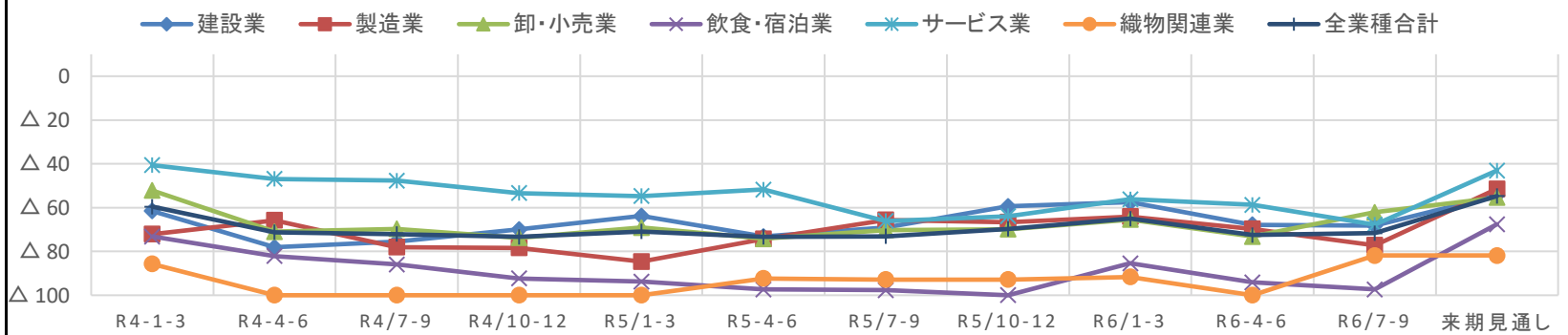
3. 仕入単価について

・7月～9月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

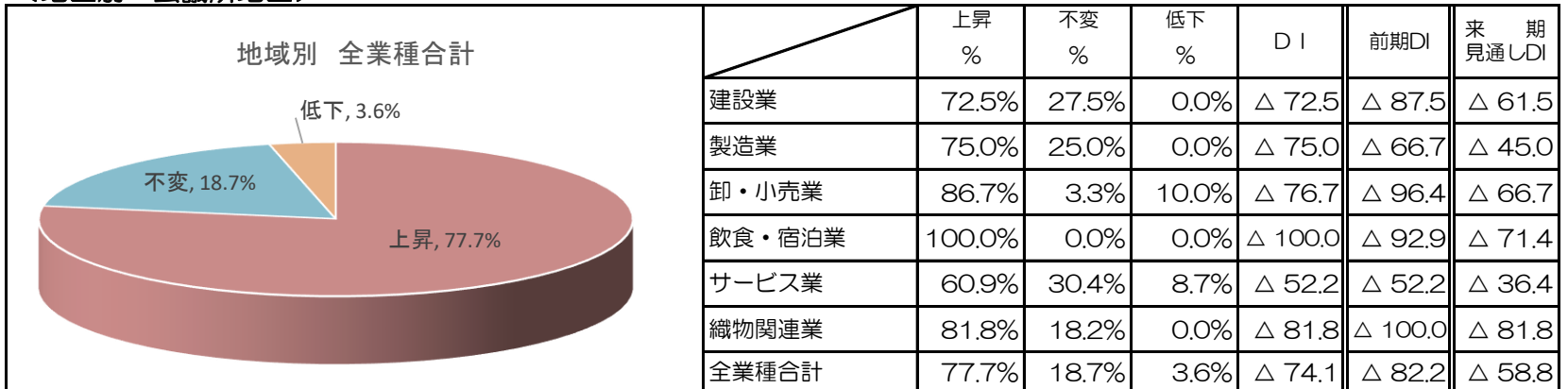


業種別仕入単価の推移(市内全体)

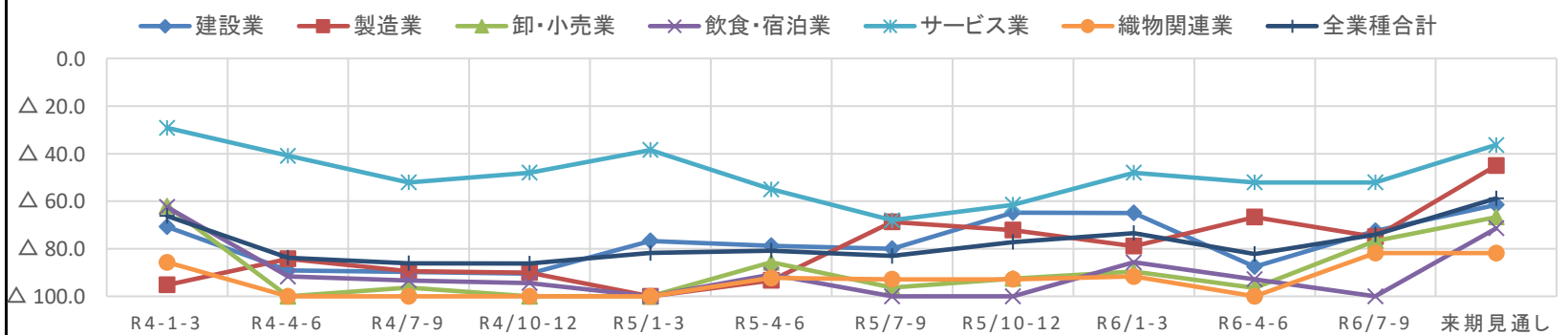


<コメント>十日町市内全体の今期の仕入単価の状況は、全業種DI値で△71.7ポイントで、前回調査時よりも0.8ポイントの仕入単価低下が見受けられる。卸・小売業ではDI値が上昇しているが、その他の業種では低下している。来期の見通しについては、全業種で低下する見込みで、全業種DI値についても低下予測となっている。

<地区別：会議所地区>



業種別仕入単価の推移(地区別)

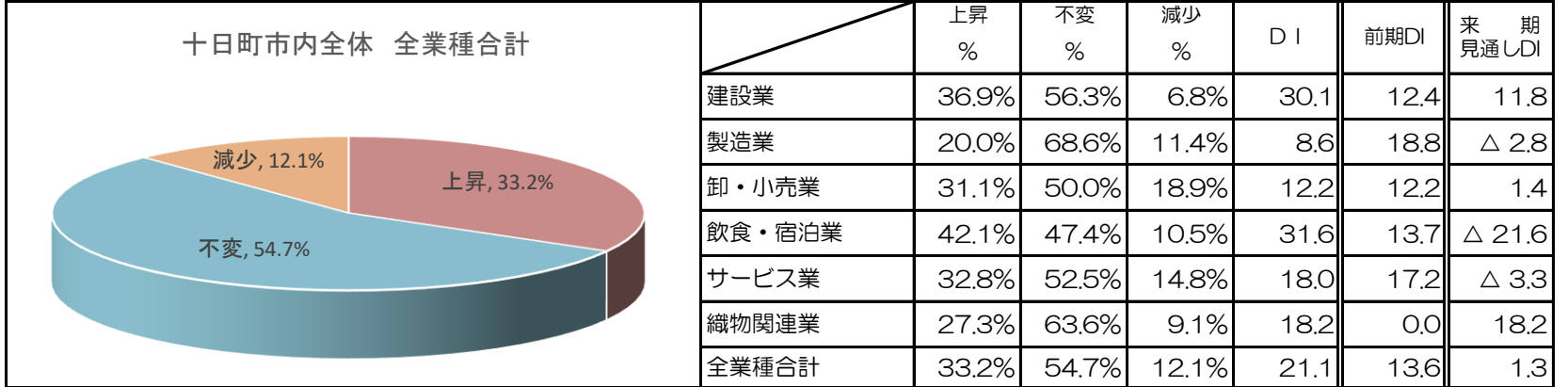


<コメント>会議所地区の今期の仕入単価状況は、全業種DI値が△74.1ポイントで、前回調査時より8.1ポイント仕入単価低下となった。業種別に見ると製造業と飲食・宿泊業は仕入単価が上昇したが、それ以外は仕入単価低下した。飲食・宿泊業においては全てが上昇回答となった。来期見通しでは織物関連業が横ばい、その他の全業種が仕入単価低下の予測となっている。

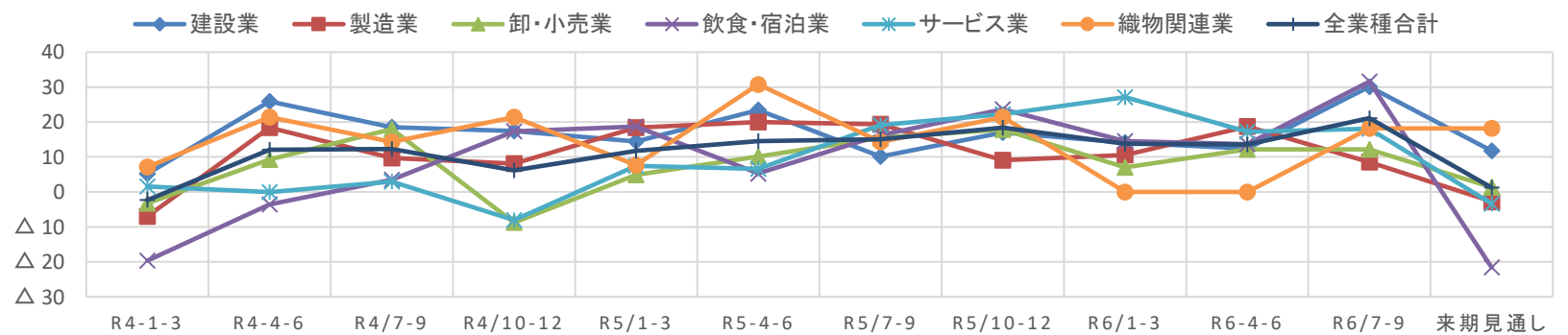
4. 販売（客）単価について

・7月～9月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

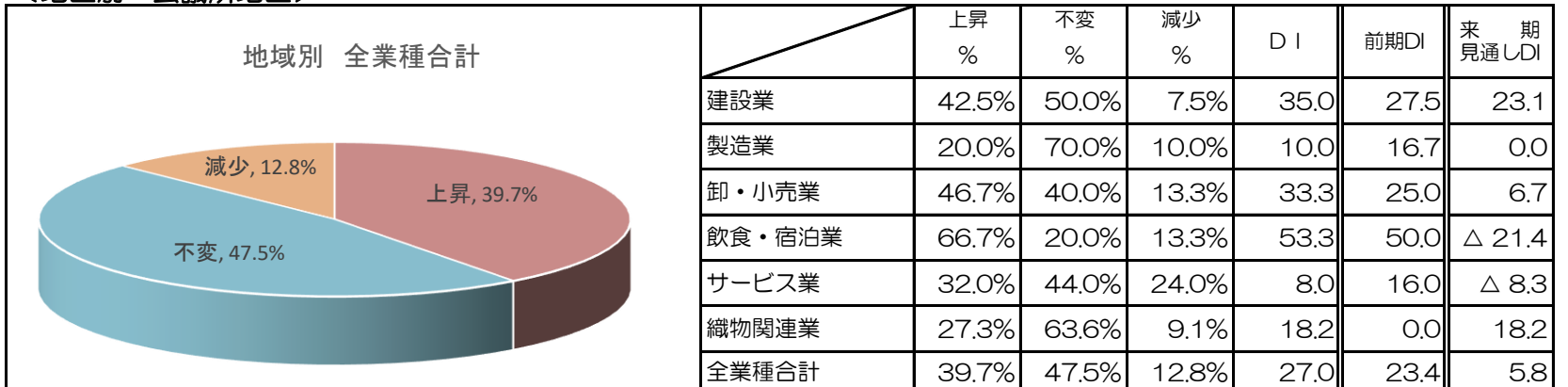


業種別販売（客）単価の推移（市内全体）

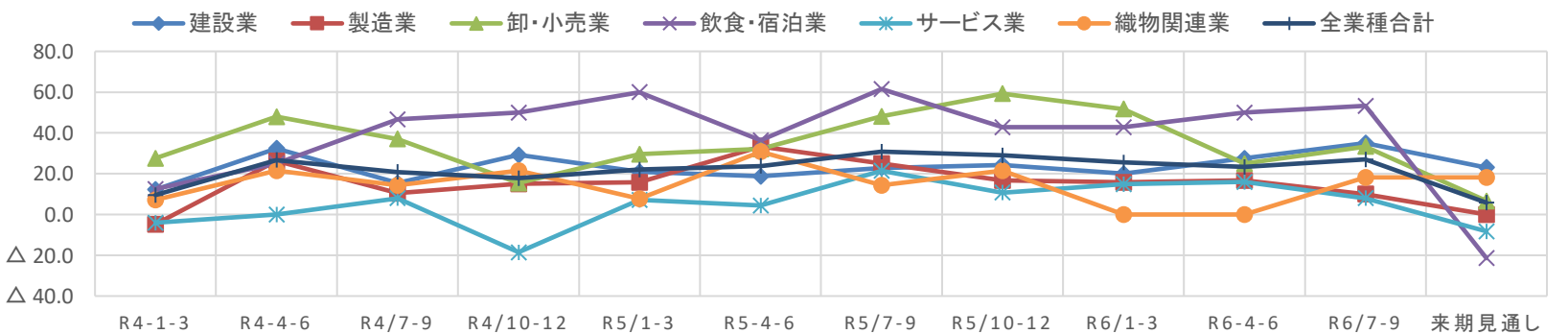


<コメント>十日町市内全体の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で21.1ポイント、前回調査時よりも7.5ポイント上昇している。特に、建設業と飲食・宿泊業での上昇幅が大きい。来期の見通しについては、全業種でDI値が低下の予測となっている。

<地区別：会議所地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）

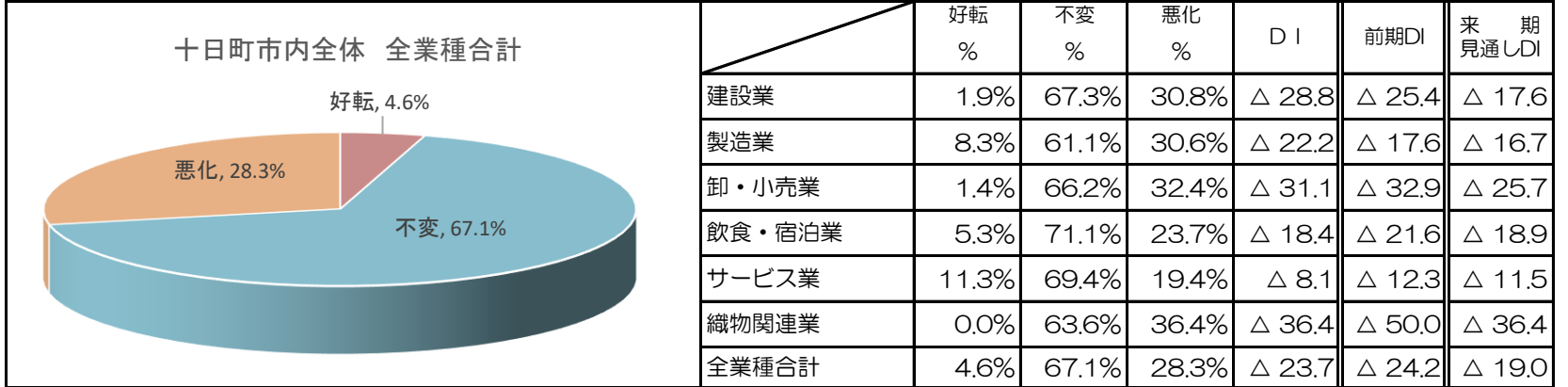


<コメント>会議所地区の今期の販売（客）単価状況は、全業種DI値が27.0ポイントで、前回調査時よりも3.6ポイント上昇している。業種別に見ると、製造業とサービス業が低下し、その他の業種は上昇となっている。来期見通しでは織物関連業が横ばいの予測、その他の業種は低下予測となっており、全業種DI値においても低下する見通しである。

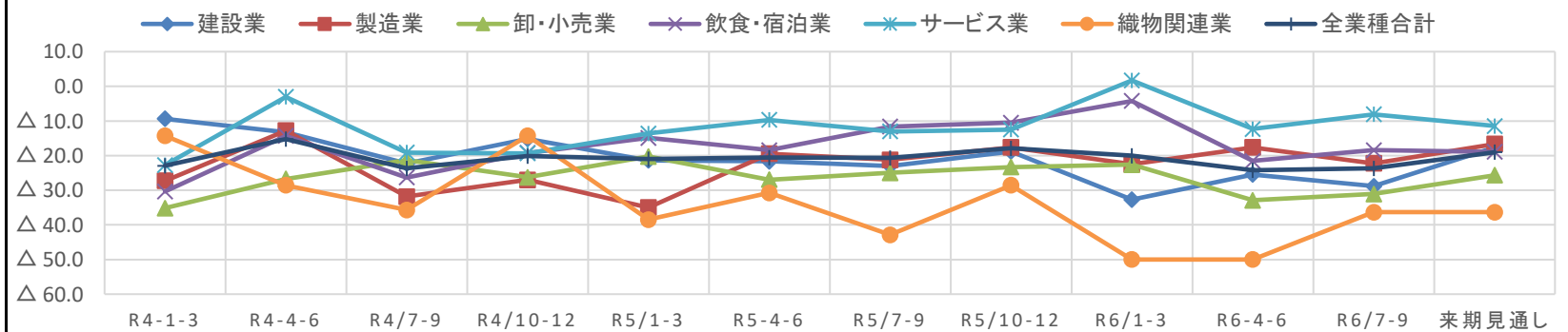
5. 資金繰りについて

・7月～9月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

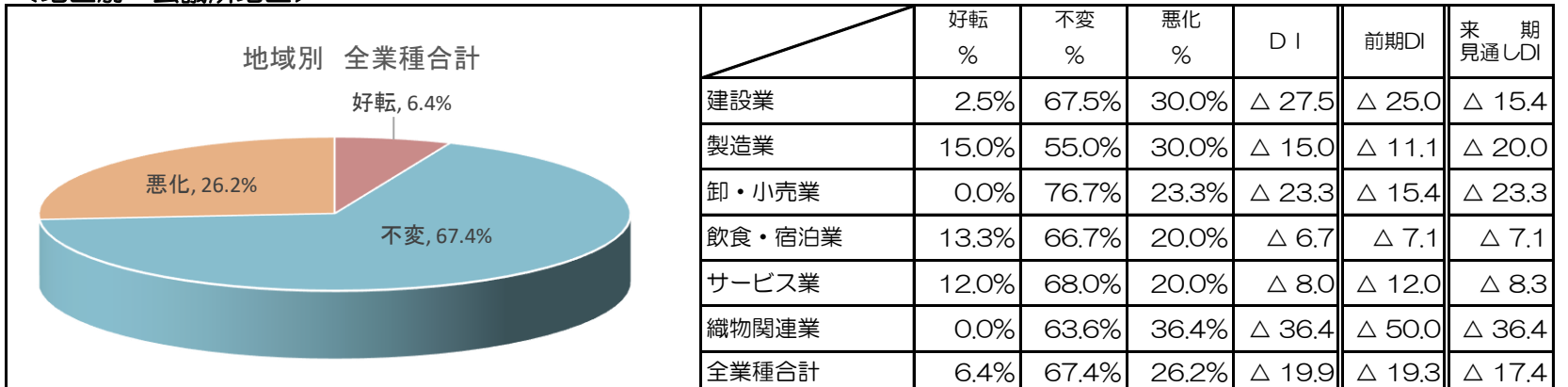


業種別資金繰りの推移(市内全体)

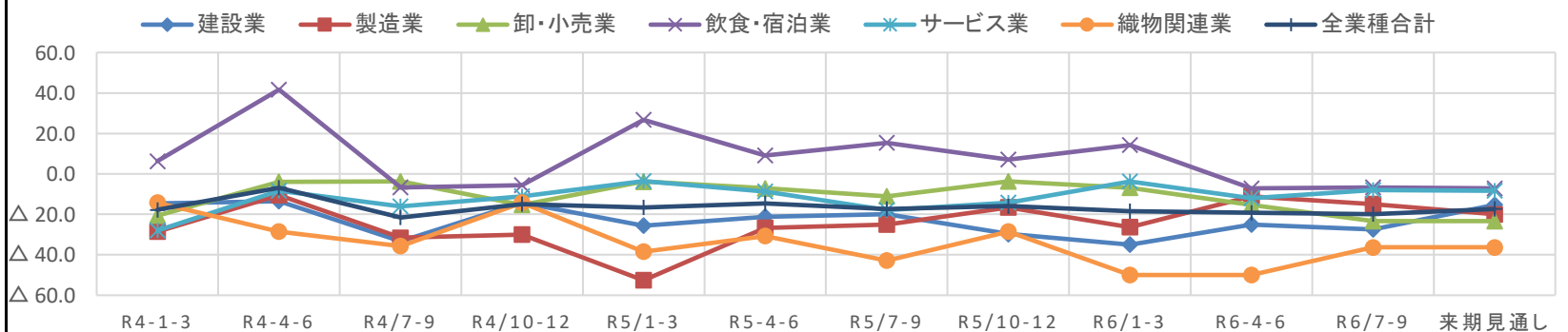


<コメント>十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△23.7ポイントで、前回調査時よりも0.5ポイント好転した。飲食・宿泊業とサービス業での好転が目立つ。来期の見通しについては、建設業で大きく好転し、全業種DI値についても4.7ポイント好転する見込みである。

<地区別：会議所地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)

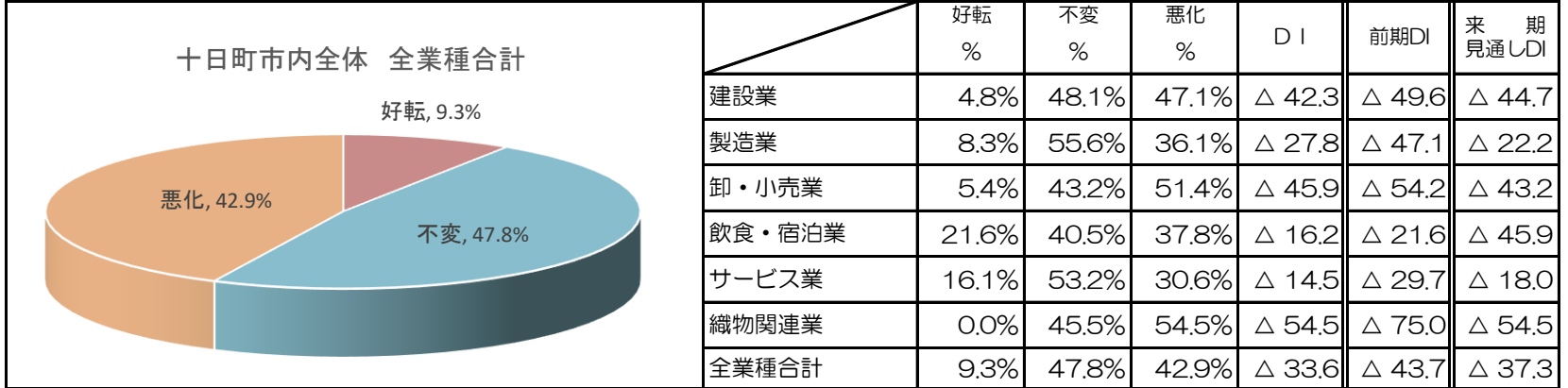


<コメント>会議所地区の今期の資金繰り状況は、全業種DI値が△19.9ポイントで、前回調査時よりも0.6ポイント悪化している。業種別に見ると、建設業、製造業、卸・小売業が悪化し、そのほかの業種は好転している。来期見通しでは建設業が好転の予測、卸・小売業と織物関連業は横ばい予測、その他の業種は悪化の見通しとなっており、全業種DI値においては好転する見通しである。

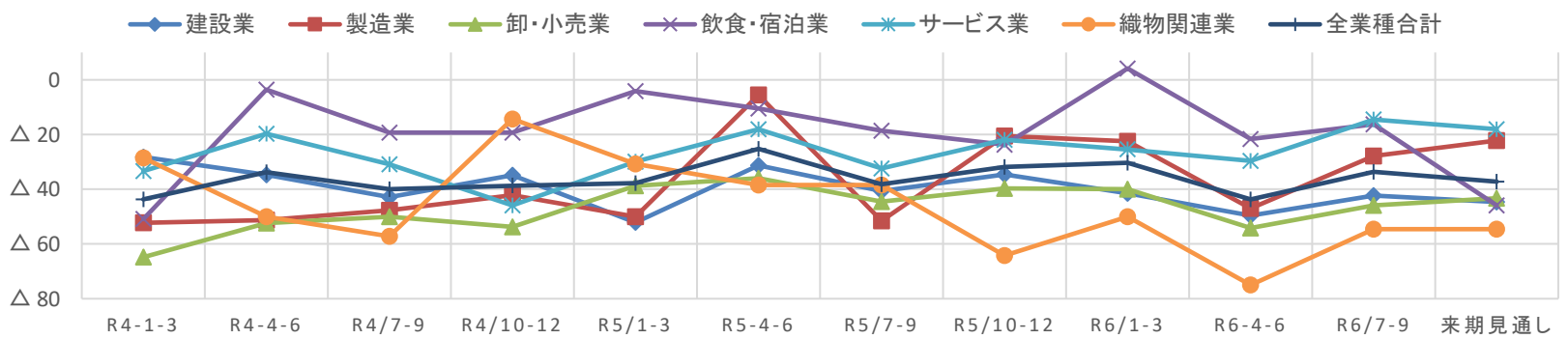
6. 景況判断について

・7月～9月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

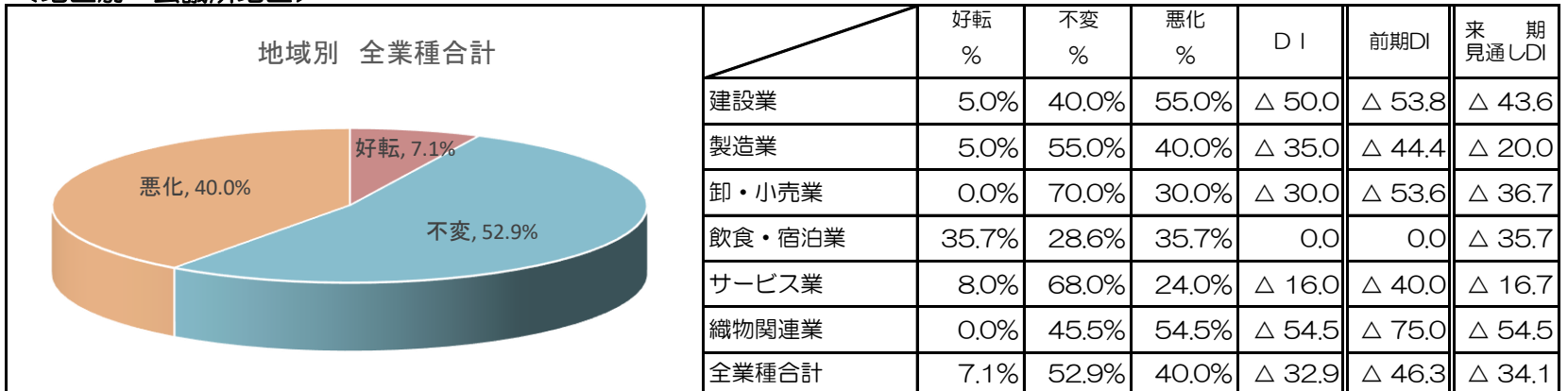


業種別景況判断の推移(市内全体)

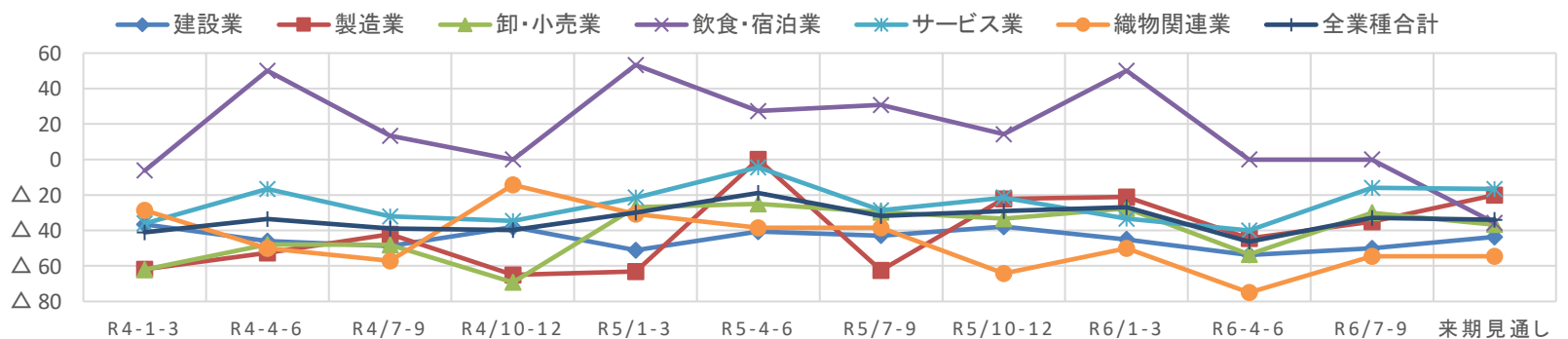


<コメント>十日町市内の今期の景況判断は、全業種DI値で△33.6ポイントで、前回調査時よりも10.1ポイント好転している。全ての業種で好転している。また、来期見通しとしては全業種DI値で3ポイント好転する見通しである。業種別に見ると、建設業、飲食・宿泊業、サービス業では悪化する傾向にある。

<地区別：会議所地区>



業種別景況判断の推移(地区別)

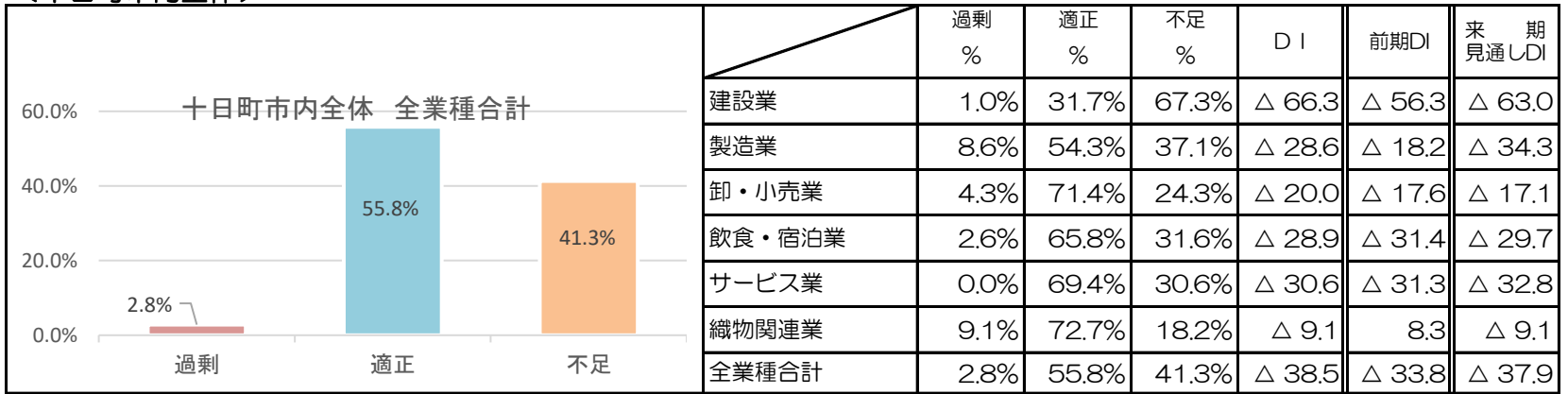


<コメント>会議所地区の今期の景況判断は、全業種DI値が△32.9ポイントで、前回調査時よりも13.4ポイント好転している。業種別に見ても、すべての業種が好転となった。来期見通しでは建設業と製造業が好転予測、織物関連業が横ばいの予測、その他の業種は悪化の見通しとなっており、全業種DI値においても悪化の見通しである。

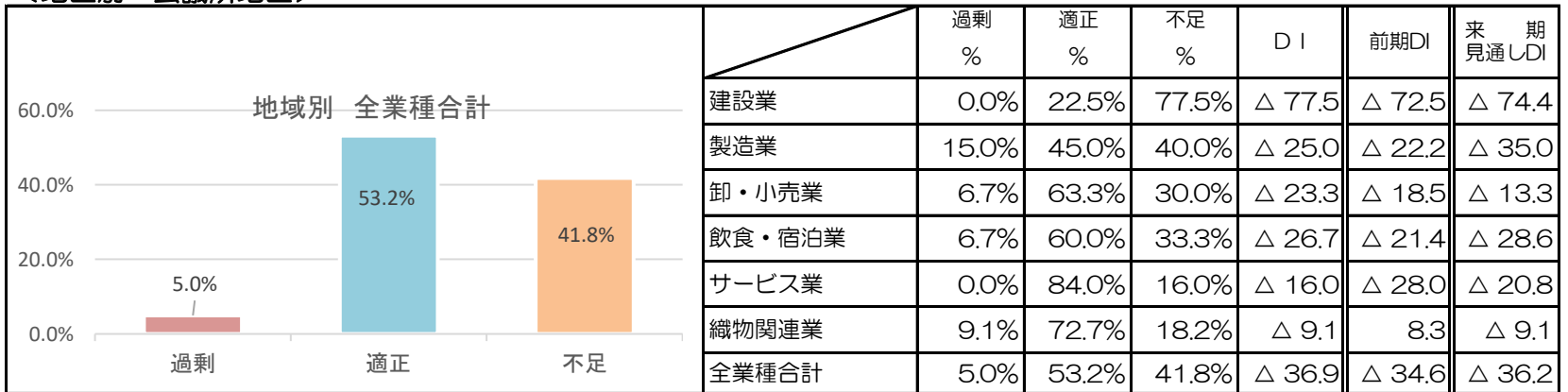
7. 従業員数について

・7月～9月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



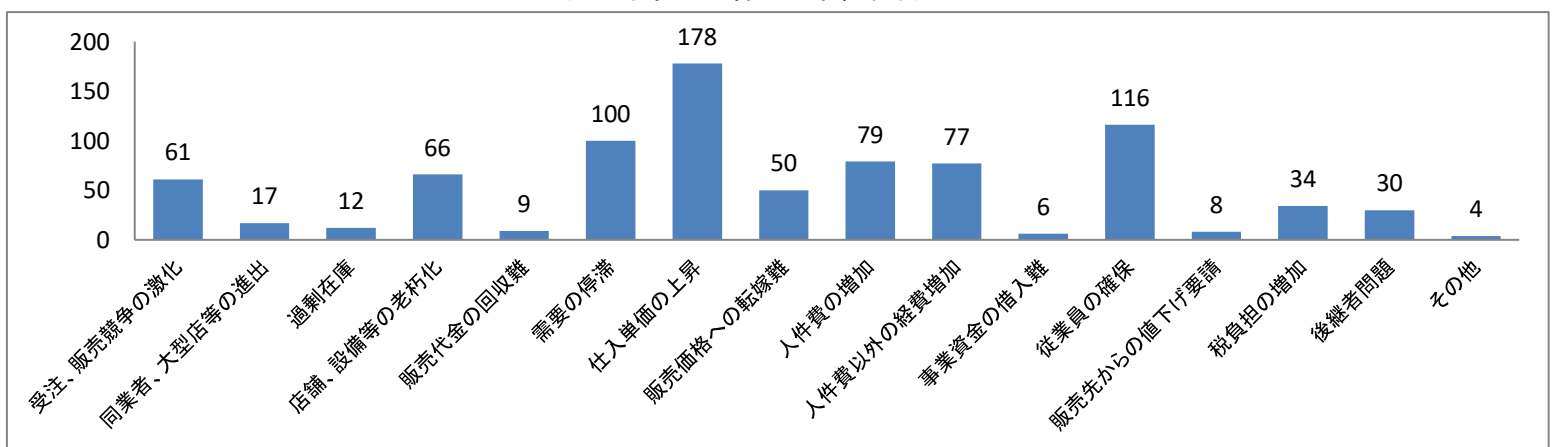
<地区別：会議所地区>



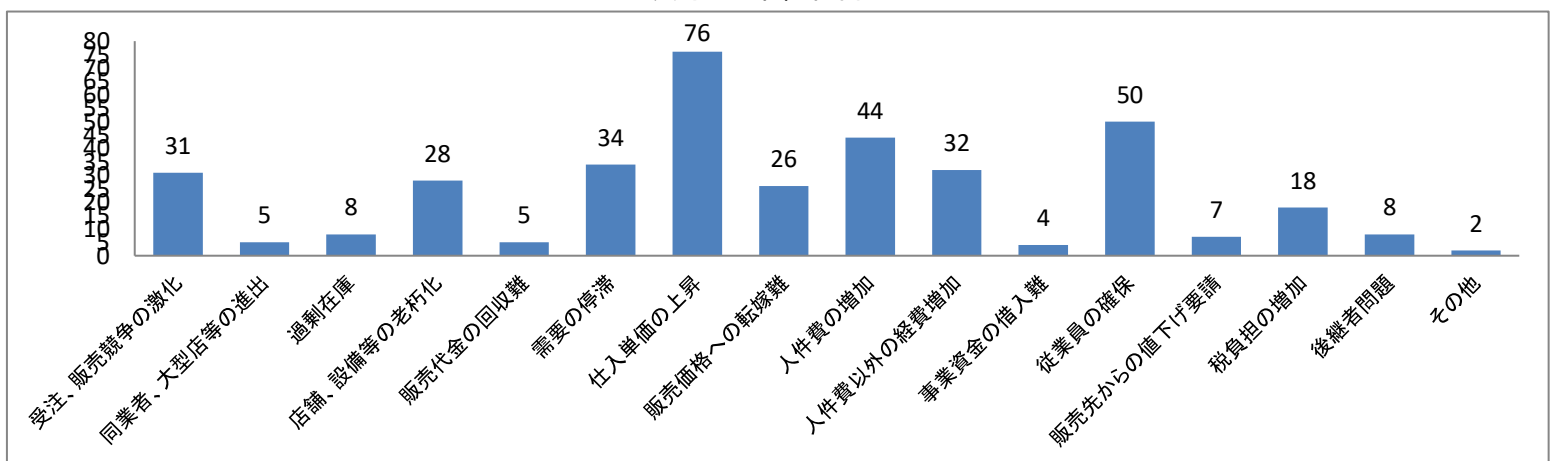
<コメント>今期の従業員数（雇用動向）は、前回調査より過剰回答が0.1%減少、適正回答が4.6%減少、不足回答が4.6%増加であった。会議所地区の状況は、サービス業で改善がみられたものの、その他の業種ではさらに不足傾向が強まっており、依然として人手不足が続いている。

8. 経営上の問題点（上位3つ）：7月～9月

十日町市内全体 全業種合計



地域別 全業種合計



<コメント>十日町市内における経営上の問題点は、1位「仕入単価の上昇」、2位「従業員の確保」、3位「必要の停滞」であった。前回調査と順位、項目ともに同じであった。仕入単価の上昇を問題点に挙げる事業者が圧倒的に多い。会議所地区の経営上の問題は、1位「仕入単価の上昇」、2位「従業員の確保」、3位「人件費の増加」となった。

9. 地区の景況概要

・7月～9月時点での全体概況は

<p>【建設業】 今期の建設業の状況は、仕入単価と販売単価、景況判断が好転しているが、その他の項目は悪化となった。来期見通しにおいては、販売(客)単価が低下予測となっているが、その他は好転の見通し。経営上の問題点は、「従業員の確保」と「仕入単価の上昇」が多く回答されている。</p>
<p>【製造業】 今期の製造業の状況は、景況判断のみ好転しているが、その他の項目は悪化となった。来期見通しにおいては、販売(客)単価、資金繰り、従業員数が悪化予測となり、その他は好転の見通しとなっている。経営上の問題点は、「人件費以外の経費増加」「人件費の増加」「仕入単価の上昇」の順に多く回答されており、経費の増加が問題となっている。</p>
<p>【卸・小売業】 今期の卸・小売業の状況は採算と資金繰り、従業員数が悪化し、その他の項目は好転した。来期見通しにおいては、売上と販売(客)単価、景況判断は悪化の見通し、採算と資金繰りが横ばい予測となり、その他の項目は好転予測となっている。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「人件費の増加」「店舗、設備等の老朽化」の順に多く回答されている。</p>
<p>【飲食・宿泊業】 今期の飲食・宿泊業の状況は、仕入単価と従業員数が悪化し、景況判断が横ばいとなったが、その他の項目は好転した。来期見通しにおいては、仕入単価のみ好転の見通しだが、その他の項目は悪化の見通しとなった。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「人件費の増加」の順に多く回答されている。</p>
<p>【サービス業】 今期のサービス業の状況は、販売(客)単価が悪化、仕入単価が横ばいとなり、その他は好転した。来期見通しにおいては仕入単価のみ好転予測とだが、その他の項目は悪化の見通しとなった。経営上の問題点は、「従業員の確保」「税負担の増加」の順に多く回答されている。</p>
<p>【織物関連業】 今期の織物関連業の状況は、従業員数を除く、全ての項目で好転となった。来期においては、全ての項目で横ばいの見通しである。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「販売価格への転嫁難」が多く回答されている。</p>